

横浜みなとみらい保育園の自己評価を終えて

昨年度に引き続き今後の課題を明確にしていくことで、より良い保育につなげていくことを目的に職員とともに保育園の自己評価を行いました。

また、今年度は昨年度からの課題であった人材育成に力を入れることを目標の一つに掲げ、法人全体で職員一人ひとりの経験年数によって求める職責や職務内容を明確化し、具体的に求められていることを職員一人ひとりに伝えられるように準備してきましたが、年度途中からの説明となり、まだまだ職員に上手に伝わり切らなかった部分が多くあった事と処遇改善加算Ⅱにおける職務の役割と責任等、いろいろな部分で周知しきれていなかった事がそのまま評価に反映されていたように感じました。今後は周知すべきことはきちんとし、また、周知の仕方に工夫し正規職員だけではなく、非常勤職員にもきちんと周知し、その後の確認も大切にできるようにしていきたいと思えます

また、保護者の方にご協力いただいております「保護者アンケート」では、毎年いろいろなご意見を頂戴することで、私たちとは違う視点で保育園をみて頂き、改善点を見つけさせていただいております。年々ご意見は少なくなっているのが現状ですが、今一度このアンケートを職員とともに読み直し、これからも保護者の皆様のご協力を得ながら、安心して安全な保育に取り組むことはもちろん、私を含め、職員一人ひとりの資質向上と保育目標に掲げている「思いやり」の言葉を私たち大人が今一度かみしめ、子どもたちにしっかりと伝えていけるよう努力していきたいと思えます。

横浜みなとみらい保育園 園長 木下かおり